



住みよい幸せな国づくり

NPO 法人
日本・デンマーク
生活研究所【会報】
第 35 号 (2021 年 1 月)
発行人 千葉 忠夫

民主主義への道 18

理事長 千葉忠夫

・意外と親切な領事に感謝

「ムシュウ、M 子は未成年だからマルセイユの日本領事館に通報した。領事がムシュウが来たら電話するよにとのことだ。」

日本領事館か！ これはまずいことになった。責任を問われ、いろいろ調書も書かされるだろうと思うと気が滅入った。領事館に電話を入れた。

「もしもし、私は日本の少年少女を引率してヨーロッパ一周旅行中の千葉と申します。領事は…」

領事が出たので

「この度はご心配をおかけして申し訳ありません。」

てっきり詰問されると思っていたら……

「いやー、大変なお仕事ですね。ご苦労様です」

「はあ～?????」

「私にも同じ年頃の娘がおりましてね。M 子のことは日本には未だ報告を入れていません。日本の親御さんが心配すると思って……」

私はそれまで外務省の役人の冷たさに何度もあったのでこの領事の優しい、あたたかさにはいたく感動したのであった。彼はこれから私たちがどこへ移動するのかを聞き、ローマはちょうど同じ時期に中曽根首相がバチカン法王国を訪問するから気を付けてとまで言ってくれたのである。

M 子はなぜキャンプ場から逃避したのだろう？自分が好きだと思っている男の子が他の女の子を好きになったから、面白くなくなって飛び出したという答。それにしてもパスポートも持たずドイツと出ていくとは驚きであった。

地中海沿岸を北上しイタリアに到着。なるほどその後バチカンの近くで中曽根首相が乗る黒塗りの車に遭遇したが交通渋滞には遭わなかった。

イタリアでは、ピサ、ローマ、ポンペイ、ベニスと回ったが日本の生徒たちは何処へ行っても名所、旧跡には興味を示さなかった、彼らの関心は食べることで寝るだけであった。ところがベニスを出てオーストリアに向かう途中アルプスで頂きに雪を見たとき

「おオッ！ 雪だァ！」

走行中寝てばかりいる生徒たちも皆起きて

「スゲー！ 雪だァ！」

と、荘厳な自然の美しさに見とれていた。



スイスアルプス
(サースフェー)

トラブルスクールはその後スイス各地を経てドイツに入りミュンヘン、ハイデルベルク、マインツからライン下りを一日かけてやった。ライン下りは生徒たちを佐々木さんと穂積さんに任せ、私は川沿いに走る国道を一人でバスを輸送した。船よりバスが速いのでケルンに先に着いた私は久しぶりに一人になってくつろぐことが出来た。

・大人がもっと子供と対話を

今、こうしてあの旅を思い起こすと様々な光景や、生徒たちとのやりとりが鮮やかによみがえる。毎日何かしらのトラブルが起こり、それを引きずっての一月の旅であった。つぶっていた生徒たちも同じご飯を食べて、同じ目的を持って旅をすると確かに変わった。ベニスの水辺で、星が近いアルプスの山で生徒たちは私と穂積さんと夜が更けるまでよく話をした。彼らは一様に今までこんなたくさん大人と話をしたことがなかったと言った。大人がもっと子供と話す時間を持ってやれば子供たちはグレたりしないということを彼らは教えてくれたのである。

少年院から来た男の生徒が置き手紙をしていったので原文のまま。

『千葉さんへ

今までたいへんお世話になりましたコのご恩は、一生わすれませんものすごく楽しかったです。

俺みたいなやつとつきあってくれてありがとう。

また、きます。かならず、

でんまーくにきます。

こんどデンマークにくる時は、よめさんつれていきます。

ま～俺は、カッコイイから

きっとカワイイ女の子ですよ。

ほんとうにどうもすいませんでした。おばさんへいろいろありがとうございました。もっと日本語をおぼえていてください。

ケン おおきくなれよ

ジュン かわいくなれよ』

家族との断絶の中で過ごした彼が私たちの家族一人一人にメッセージをくれたのだ。

一ヶ月、8500kmの旅を終えた彼らがコペンハーゲン空港でもらした言葉が気になって仕方ない。

「また、あの日本に帰んのかよ〜」

つっぱり達が汚れない涙をいっぱい浮かべながら帰っていった。

・ 教師は自由にアルファベットを教える

8月上旬はデンマークでは新学期が始まる。桜の咲く4月新学期の日本とは異なり、麦畑が黄金に色づき収穫が始まり出すのもこの頃である。夏休み前まで幼稚園学級に通っていた娘・純が一年生となり、いよいよアルファベットを習い始めた。文部省からは各学校に教科書指導要綱がきているだけで国定教科書はない。したがって教師はどんな教科書を使っても良いし、教師自身が自分で教材を作っても良いのだ。要するに文部省の指導要綱にある、たとえば一年生の国語はアルファベットを学習、習得させるとあれば、教師はそれを満たす教育を実施すれば良いということである。

アルファベットには大文字、小文字、活字体、筆記体などいろいろと記述方法も異なる。息子が一年生のときは、担任の先生が50歳代で一年生からいきなりアルファベットを筆記体で教えたのは驚いた。理由は女性の社会進出がスウェーデンと並んで世界一のデンマーク、子供が学校から帰ったとき、両親が不在となることが多々あるので、子供に伝言を書き残しておくことがある。この場合、大人は普通筆記体で書くのでそれを子供が読めるようにという理由だった。なるほどと納得がいった次第である。

・ 先生は社会経験を積んでから教育大学に

純の担任の先生は師範学校（デンマークでは四年間の中間教育は大学と呼ばずセミナーと呼ぶが、日本では教育大学と呼ぶだろう）を出たばかりの若い先生だった。若いと言っても30歳。なぜかというとデンマークの教員養成の学校（教育大学）では、高校卒からストレートに入学するのはごくわずかである。ほとんどの学生は高校卒業後、外国旅行を1〜2年間、仕事を1〜2年間あるいは国民高等学校に半年間くらい学んだ者、要するに高校卒業後、社会経験を4〜5年間積んでから入学するのである。従って教育大学の入学時の平均年齢は24〜25才と言われている。当然卒業時点では30歳前後になるわけである。デンマークでは、大人が子供を教育するのであって、

子供が子供を教育することはまずあり得ない。たとえ高校卒業後18歳で教育大学に入学した者でも、4年間を通して同期の社会経験豊富な学友たちから大人にされるからである。

・ 担任は6年・7年まで持ち上がり

健も純も担任の先生は国語（デンマーク語）の先生である。1週間に一番授業の持ち時間が多い先生だからだ。また次に持ち時間が多い先生が副担任となるので、副担任は数学の先生と決まっている。担任・副担任は普通六年生あるいは七年生くらいまで持ち上がりであり、時には九年生まで持ち上がることもある。教師には転任がない。よほどのことがない限り定年まで同一学校に勤務することが出来る。

担任が六〜七年生あるいは九年生まで持ち上がるということは、それだけ長い期間自分の学級の生徒を観察指導できるので、日本で起こるような校内暴力、いじめなどは皆無といってよい。

さて、純の若い？担任の先生はアルファベットを活字体で教えた。活字体であれば誰も読み間違いをしないからという理由である。子供たちの親にも伝言を子供に書くときは活字体で書いて欲しいといった。なるほどなるほどとまた驚かされ、感心させられたのである。

低学年のときは試験（テストはある）も通知表もないので子供の理解力がどのくらいなのか分からない。これは年に2回ある親との面談で知られるのである。面接日に学校へ行くと担任、副担任から子供の学校における態度、授業の理解度まで教えてくれる。事前に希望すれば正副担任以外の教科担任の先生とも面接することが出来る。子供たちの学校教育を通して私はいろいろなことを教わった。

【編集部注】試験とテストの使い分け

testの日本語訳が「試験」であるため“試験（テストはある）も通知表もない”という記述に混乱するう読者が多いと思います。千葉忠夫さんがこの二つの言葉をどう使い分けているか説明して貰いました。

試験というのは、「……を得る（……に入る）試験」である examination を意識していて、このその科目の成績評価をするために理解・到達度を測るためのもので学年末に行われます。特に最終学年のそれは他の学校の教員に抛る口頭試問で行われます。従って全国どこの学校を卒業しても、成績評価のレベルは一緒です。故に高校・大学への進学に際し学力試験はありません。

テストは、その時々理解到達度やつまづいている箇所を知り、その生徒に対する最善の学習指導方法を見出すために行われるものを指しています。

この手記は月刊「権利闘争」（権利問題研究会発行）にて連載されたものです。転載の許可をいただきました関係者の方々に感謝いたします。

NPO 法人日本・デンマーク生活文化研究会 2020年度（書面）総会報告

コロナ禍で集会もままならぬ中、書面総会の形で実施しました2020年度総会の結果をご報告します。

現在の正会員数は94名ですが、長年にわたり会費納入が滞り連絡も取れない人が4人います。理事会で検討した結果、この4人は会員資格停止の扱いとしますので、総会成立に必要な正会員の過半数は46人になります。

それぞれの議案に対する賛否、寄せられたご意見（背景が青地、個人名は原則イニシャルで表記）、理事会の見解、釈明（青字）は以下の通りです。

書面総会の進め方について

賛成52（内委任状16）、反対0、棄権0

皆さんの環境が整っていればウェブ会議とやらもありかとおもいますが私はそういうことができないので、これなら参加できますがまとめる方は大変ですね。（YMさん）

WEB総会は現実問題として不可能だと考えています。

議案1）2019年度事業報告について

賛成52（内委任状16）、反対0、棄権0

福島と東京と長野だけと言えばそうだけれど借入金が必要な状態でそれだけできたのはスゴイと思います。（YMさん）

議案2）2019年度収支決算報告、3）寄付金特別会計2019年度収支決算報告、4）未収金特別会計2019年度収支決算報告、監査報告書について

賛成52（内委任状16）、反対0、棄権0

当座預金出納帳を作った方がいいです。あと監事が現金を通帳に入れろというのは現金出納帳がしっかりしていないからだと思います。これはおこずかい帳がつけられればできます。コロナで箱根を越えられないから見に行けないけど。（YMさん）

会計に関しては理事会でも随時検討していますが、まず問題になるのは収入の不安定と資産の脆弱性です。現在年会費の額はその年の総会で予算案が可決されることで決定することになっています。そこで毎年8月に会費納入のお願いと振込用紙をお送りしていますが、納入状況は良好とはいえません。繰越金はほとんどないので4月・8月の会報印刷・発送、総会案内の印刷、総会出欠の返信ハガキ代は編集部で立て替えて後日返却してもらうことが多い現状です。この状況で支出全てをその都度通帳に記載することは不可能です。

可能にする方法の一つは毎年度の初めに例年の立替分を借り入れて通帳に入れ（理事会に未提案）、もう一つは会費納入率を高めて繰越金を増やすことで、立替無しで現金の支出を可能にすることだろうと思います。

議案6）2020年度事業計画について

賛成52（内委任状16）、反対0、棄権0

こんな時期に集まる予定はたてられない。高齢者も多いです。会報発送準備も大変なので3回に賛成です。（YMさん）（YMさん）

現在、本校でもキャッチしている動きとして、日本におけるフォルケホイスコーレへの関心がとても高まっております。日本各地でNPOや団体がフォルケホイスコーレの設立を試みていたり、フォルケホイスコーレのエッセンスを学びたいというお問い合わせが増えております。コミュニティーも発足されているようですので、これらの組織とのコラボレーションにて、研修やイベントを企画してみるのもいいと思います。私どもで協力ができる場合はいつでもお声がけください。（Nordfyns Højskole Momoyoさん）

実現に向けて検討しなければならないと思います。

議案7）2020年度収支予算、8）2020年度寄付金特別会計収支予算、9）2020年度未収金特別会計収支予算について

賛成51（内委任状16）、反対0、棄権1

受取会費、毎年の支払い率を考えると期待しすぎな気がしますが、

研究会、研修会あたりの収益、費用も年を越したら出来るかもしれないから入れたのでしょうか？

あと、会報印刷は割高でも今年講演も少なくなるでしょうから部数をへらした方がいいと思います。（YMさん）

現在は1200部を印刷していますが、基本単価の最少部数が1500部なので十分に減らしています。出費を抑えるためと言うより残部の保管場所の問題の方が担当者としては問題でした。

街の印刷所に例えば1000部頼んで幾らになるかは未調査です。

役員任期の1年延長について

賛成40（内委任状16）、反対0、

棄権・無回答12

「了解」「賛成」「異議なし」「ご苦勞ですがよろしくお願いします。」等の声をお寄せいただきました。逐一の紹介は省略させていただきます。

その他のご意見等（敬称略）

このコロナに対して各国がどんな対応をするか、

違いが出てきたときに「たのむ!! デンマーク、うまくやってくれ～」と祈っていました。うまくいければ、デンマーク人の考え方に興味を持ち、「見に行ってみよう」と言う人が増えるかと思ったからです。実際はいまいちでしたね。残念!!
来年、オリンピックができるかもわかりませんが、デンマーク人に日本人の生活を知ってもらう活動もするべきなんではないでしょうか? もしくは、学院OB、OGを尋ねてくる同期のデンマーク人に、こんな体験できるところがあると案内しやすい情報をHPに載せるとか。(YM)

後半部分、検討に値する提言有難うございます。コロナという大変な時代となってしまいました。世界中の動きが止まっています。役員の方々、会員の皆さん頑張ってのり切りましょう!(NK)
コロナ下で今年度はいろいろ大変だと思います。役員のみなさま ご苦労おかけします。(SN)
デンマークのフォルケ体験者の数は、どんどん増えていると思います。しかし時間の経過とともに感動が薄れてしまうのが現実です。日本各地で、小さな報告会で良いので、帰国した方からお話を聴ける場があればうれしいです。それを期に、体験者同士のつながりができれば、おもしろい意見や次の活動が見えてくるかもしれません。(PS)

検討してまいります。
特になし。今年もよろしく願います。(SN)
私の運営する社会福祉法人「永甲会」にて最近の高齢福祉の諸課題或いは先進国の取り組みについてご講演いただければ幸いです。(NM)

お申込みありがとうございます。
会員からの「情報提供希望」についてもっと協力して欲しい。デンマークのコロナ状況についての情報をもらい全社協のマガジンに研究所の紹介・PRと共にしたいと思ったが返信がなかった。個人会費は納入します。(OS)

木更津の茂木宅にファックスで質問が届いていたのですが、長野で生活している期間でしたので、ファックスを見ることができず、お答えすることができず、失礼いたしました。ご容赦ください。
来年はきっと良い年になると思います。お役目ありがとうございます。感謝しています。(KA)
お世話になりました有り難うございます。(KE)

編集後記 ★収まるどころか感染拡大を続ける Covid-19。拙速なGo to 開始と遅過ぎたGo to 停止が年末年始の家族集合すら奪った。★無感染を確認した者に経済活動を継続させる方法を探らないのは、地盤強化をしないで湿地に家を建てるような危うさのだと、子供でも分かる理屈。★前首相の不祥事を追及されるのが嫌で? この緊急時に国会を閉じ平気な政府・与党。★それなのに多くの国民の年収を超えるボーナスを受け取り恥じる様子もないボケナスぶりに唾然。★内閣支持率の急落に国民の健全な精神を見て慰めとする。(茂木)

全ての案件議案賛成致します。よろしく願います。作業本当にありがとうございます。(ST)
大変申し訳ございません。再度お振り込み用紙をお願いします。(SR)
返信遅くなってすみません。(SY)
なし。(GH) (岩手デンマーク友好協会)

日頃、会員の皆様の声が届くことが少ないので書面総会で届けられた言葉は新鮮でした。今後も会報の感想やら身近な出来事や情報、ご質問等をお寄せいただけると幸いです。

(取り纏め: 前田正志 文責: 茂木俊郎)

2021年度総会予定は 暫定的なものですが、例年5月の最終土曜日の前の土曜日に開催していますので、**2021年5月22日(土曜日)**になります。

言うまでもなく新型コロナウイルス感染症が未だ収束せず出席者の安全が懸念される場合には延期・変更を考えます。

第11回研修塾は 2020年度総会資料の「2020年度事業計画」にあるように、新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢から、今年度は開催できる状態ではないと早期(3月中)に判断しました。

可能であれば次年度(2021年秋)には開催したいものと考え、お世話いただける方を探しています。ご協力いただける方は、千葉理事長か前田事務局長、茂木あるいは理事の誰かにお知らせください。

千葉忠夫理事長と鈴木孝枝さんの連載コラム

「幸せな国は必ず作れる——笑顔が消えた祖国へ」
Note(ご存じない方はTwitterやFacebookと同じようなものだと思います)で当NPOの千葉理事長と日欧文化交流学院卒業生の鈴木孝枝(Sueさん)の対話式のコラムが毎週水曜日に連載されています。たいそう示唆に富み興味深い内容ですので是非読んでみてください。千葉理事長が講演その他の目的で帰国することは当分不可能だと思われるので、なおさら貴重な連載だと思います。

ウェブ検索欄に上記タイトルを入力するのが面倒なら「note 千葉忠夫」または「Chiba & Sue」と入力すれば簡単に出てきます。第1回からご覧になれます。

発行所

〒292-0801

千葉県木更津市清西4-6-9

Tel & FAX: 0438-36-3565

お問合せ Tel: 090-9827-9262

茂木(もてき)俊郎

NPO法人ホームページ

<http://www.djsli.com>

メールマガジンの申し込みはホームページからお願いします。